

自律 目標に向かって自分自身を律する

感謝 思いやりや感謝の気持ちをもつ

貢献 地域社会に貢献する態度を養う

創造 既成の知識から新たな発想を生み出す

啖啄同時

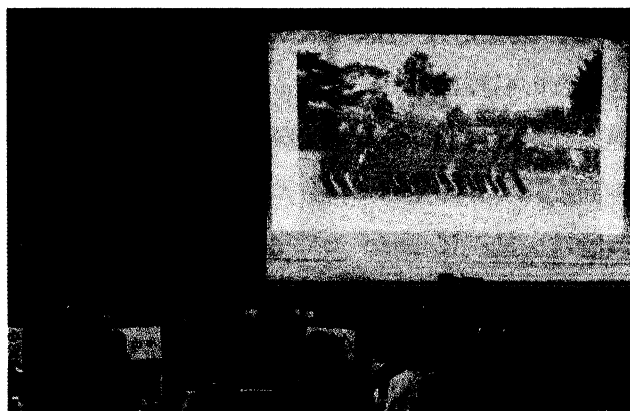
2023.2.3 第38号



1月27日（金）、3年ぶりに新入生説明会が行われました。

約80名の入学予定者を迎え、5校時に校内探検と講話、6校時に新入生説明会を実施しました。講話では、「**中学生になるにあたってお願いしたいこと**」というタイトルで、読書について話をしました。

読書を通して得られる効果については、多くの著名な方が述べられています。



＜生徒会による学校紹介の様子＞

～ 日本講演新聞 水谷もりひと氏 ～

「読書」は知性を磨く上で最も身近なもので、心もワクワクし、より質の高い生活を与えてくれる。ただ緊急性がないために「いつか」「そのうち」と言い訳しながら先送りしていないだろうか。

～ 東北福祉大学特任教授・古川商業バレー部元監督 国分秀男氏 ～

よい本を読むこと、これは人生において計り知れない大きなヒントを与えてくれるんですね。

よい本を読むと意識が変わり、行動が変わり、人生の結果も変わっていくんです。一人でも多くの方に良書に出逢ってほしい。

読書は心に摂る食事です。読書を通じて心の栄養を摂らないと、心が弱って身体まで弱ってしまうものです。心が震える話や人生の指針となる言葉は読み手の心を磨き高めてくれます。

～ お茶の水女子大学名誉教授 藤原正彦氏 ～

人間が直接経験できる世界は余りにも狭い。その実体験を補って余りあるものが読書。私たちが家族以外に真に心を通い合わせられる相手は、一生のうちせいぜい2人か3人。ところが書物の世界では無数の人物、無数の登場人物との間で深い心の交感ができる。